

令和8年度

肢体不自由教育部門

中学部

第1学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部		学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語			学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 抽象的な概念を表す語句を学び会話文章で使用することで、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (2) 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 (3) 進んで文章を読み理解や思考した事を知識経験と結び付け学習課題に沿い文章を書こうとしている。					
年間授業時数	144 単位時間					
使用教科書	光村図書出版					
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	ダイコンは大きな根	11	文章の中心となる部分を捉える。 段落の役割について考える。 筆者の説明の仕方について話し合う。			<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとする ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむ。 ・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとする。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉える。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し考えを伝え合う。 ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換える。 ・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解する。
5	ちょっと立ち止まって	12	文章の構成に着目し、要旨を捉える。 文章の構成に着目し、序論・本論・結論の役割を知る 考えたことを伝え合う。			
6	大人になれなかった弟たちに……	12	描写に着目して登場人物の心情を捉える。 題名のもつ意味について考える。 表記に込められた、作者の意図を考える。			
7	文法への扉1	10	「文法とは」を読み、文法の定義を理解する。 下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。			
9	星の花が降るころに	12	「私」を中心に作品の内容を押さえる。 場面や描写を結び付けて内容を解釈する。 印象に残った場面や描写を語り合う。			
10	「言葉」をもつ鳥、シジウカフ	12	文章の構成と内容を捉える。 文章の構成や展開の効果を、根拠を明確にして考える。文章を読んで、考えたことを話し合う。			
11	文法への扉2	10	「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」を理解する。 下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。			
12	蓬萊の玉の枝「竹取物語」から	12	現代語訳やP169「古典の言葉」を参考に、現代の文章との違いを確かめる。 作品の内容を読み取り、古典の世界を想像する。			
1	今に生きる言葉	10	本文を読み、故事成語について理解する。 漢文の基礎知識を習得する。			
2	文法への扉3	8	「自立語・付属語」・「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。			
3	少年の日の思い出	10	作品の展開を捉える。 表現に着目して、「僕」の心情の変化をまとめる。 別の人物の視点から文章を書き換える。			
通年	漢字	25	「漢字に親しもう1～5」に取り組む。			

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	社会	学習グループ名	中⑤	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	社会		学習グループ名		中⑤				
目標・ねらい	(1) 主な国々の特色を基に世界の地域構成を大観し理解する。資料から歴史に関する情報を読み取ったり、年表にまとめたりする技能を身に付ける。 (2) 諸資料を活用して世界の地域構成の特色や歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 (3) 世界の地域構成や私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。								
年間授業時数	106 単位時間								
使用教科書	帝国46(703)社会科 中学生の地理世界の姿と日本の国土、東書2(705) 新しい社会 歴史								
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容				指導上の工夫		
4	<地理的分野> 第1部 世界と日本の地域構成	12	○地球儀や世界地図を活用し、地球の表面、地域構成を知る。 ◆世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとにして、世界の地域構成を捉える。地球儀と世界地図の利用方法を知り、活用できる。				・デジタル地球儀を活用し、国別名称当てクイズや調べ学習など、自らすすんで取り組むことができる課題を設定する。 ・世界各地に興味をもつことができるよう、視聴覚資料を多く提示する。 ・世界の人々の生活を追体験できるよう、ロールプレイ等を行う。 ・既習事項をもとに、各州の人々の生活を考えられるよう、振り返りの時間を設ける。 ・歴史理解の基盤となる知識を確実に定着できるように、小テスト等で振り返りを行う。 ・太古の人々の生活を想像できるよう、実物資料を多く使う。 ・歴史的事象が流れとして捉えられるよう、書き込み年表等を使用する。		
5	<地理的分野>第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域	22	○視聴覚資料から世界の諸地域の気候や、その中で生活を営む工夫を知る。 ◆世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。						
6	1アジア州、2ヨーロッパ州、3アフリカ州								
7	<地理的分野>第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域	22	○視聴覚資料から世界の諸地域の気候や、その中で生活を営む工夫を知る。 ◆世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。						
9	4北アメリカ州、5南アメリカ州、6オセアニア州								
10	<歴史的分野>第1章 歴史へのとびら 1節 歴史をとらえる見方・考え方、2節 身近な地域の歴史	28	○年代の表し方、時代区分について知る。 ◆歴史を学ぶ意欲を高め、その意義について考える。 ○プリント、資料読み取り、視聴覚資料から人類史の始まりを知る。 ◆人類の出現、文明のおこりから各地に国家が生まれていく経緯を把握する。						
11	第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり、2節 日本列島の誕生と大陸との交流、3節 古代国家の歩みと東アジア世界								
12	1節 武士の政権の成立、2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開								
1	<歴史的分野> 第3章 中世の日本 1節 武士の政権の成立 2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	18	○教科書、史料から中世の日本について知る。 ◆武士が登場し力を伸ばした理由を考察するとともに、その後の武士社会の基盤がこの時代に築かれたことを理解する。						
2									
3	学習のまとめ	10	1年の学習の振り返りをする。						

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	数学		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (2) 事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。				
年間授業時数	144 単位時間				
使用教科書	学校図書「中学校 数学 1」				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	正の数・負の数	26	○正の数・負の数、正負の数の四則演算、素数、素因数分解		<ul style="list-style-type: none"> ・予想したり、同じように考えたり、筋道を立てて考えたり、まとめて1つとみたりするなどの、数学的な見方や考え方を適宜強調する。 ・今までの学年で学んでいる内容で理解が十分ではないものに関しては、プリントや宿題等で復習を適宜行い、理解の定着を図る。 ・パソコンやタブレット端末なども用いて視覚的な支援を行い、分かりやすく説明する。
5					
6	文字式	17	○文字式の表し方、1次式の計算		
7					
9	1次方程式	16	○等式と不等式、方程式の解き方と利用、比例式		
10	比例と反比例	22	○関数、比例と式、反比例		
11					
12	平面図形	18	○作図、垂直二等分線、角の二等分線、図形の移動		
1	空間図形	18	○空間図形の見方、展開図、表面積と体積		
2	データの活用	15	○データの傾向の調べ方、相対度数		
3	1年間の振り返り	12	○1年生で学んだ内容の振り返り		
通年					

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1)身近な事物・現象に関心をもち、目的を明確にし観察や実験に取り組む。 (2)観察・実験を通し、分析・解釈する力を育む。 (3)自然界で起きている事物・現象への知識や理解を深める。				
年間授業時数	106 単位時間				
使用教科書	啓林館「ひろがるサイエンス」				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	自然の中にあふれる生命	8	○身のまわりの生物の観察 ○生物のなかま分け		(1) 科学資料集や文献の図版などを用いて、見識を広める。 (2) 観察や実験を通し、実際に体験しながら理解を深めていく。 (3) 科書・ノートと復習用のプリントを通して、知識の定着を図る。
5	いろいろな生物とその共通点	20	○植物の特徴と分類 ○動物の特徴と分類		
6					
7	身の回りの物質	28	○いろいろな物質とその性質 ○いろいろな気体とその性質 ○水溶液の性質 ○物質のすがたとその変化		
9					
10					
11	光・音・力による現象	25	○光による現象 ○音による現象 ○力による現象		
12					
1	活きている地球	25	○身近な大地 ○ゆれる大地 ○火をふく大地 ○語る大地		
2					
3					
通年					

学 部	▼ 選択してください	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 音楽活動お楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2) 基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	教育出版 「中学音楽1 音楽のおくりもの」「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」「中学音楽1-3 音楽のおくりもの」				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	曲想を感じ取り、ふさわしい表現を工夫しよう	3	○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○歌唱「花」「荒城の月」 ◆身体をリラックスさせて発声することができる。 ◆曲想を感じ取り、表現を工夫することができる。		<ul style="list-style-type: none"> • 身体を温めるため、ストレッチを行う。 • 正しい発声をするため、姿勢を整える。 • 範唱を聴く。
5	小フーガ短調曲の形式を捉えよう	3	○鑑賞「小フーガ短調」 ◆パイプオルガンの音色を味わう。 ◆フーガという曲の構成を理解する。		<ul style="list-style-type: none"> • パイプオルガンの仕組みが分かりやすいよう、動画やイラストを用いる。
6	アンサンブルを楽しもう	4	○合奏「くいしんぼうのラップ」「DO-RE-MI」 ◆リズムを理解して演奏できる。 ◆鍵盤楽器を演奏し、アンサンブルを楽しむことができる。		<ul style="list-style-type: none"> • 見やすくわかりやすい楽譜を提示する。 • オノマトペを使って、リズムを捉えやすくする。
7	情景を思い浮かべながら表現しよう	3	○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○歌唱「夏の思い出」「浜辺の歌」 ◆歌詞の意味や情景を想像して歌唱表現することができる。 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。		<ul style="list-style-type: none"> • 情景を想像しやすくするため、画像を用いる。 • 歌詞の意味を分かりやすくするため、現代の言葉で説明する。
9	曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう	3	○鑑賞 組曲「惑星」から第1曲「火星」 ◆オーケストラの響きを味わう。 ◆曲の特徴を捉え、標題と結び付けて鑑賞することができる。		<ul style="list-style-type: none"> • 情景を想像しやすくするため、画像を用いる。
10 11	合唱を楽しもう	7	○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○合唱「翼をください」「コスモス」 ◆身体をリラックスさせて発声することができる。 ◆ハーモニーも美しさを感じ取り、表現することができる。		<ul style="list-style-type: none"> • ストレッチをしっかりと行う • パートごとの音取りを繰り返し行う。 • 強弱記号に印をつけ、分かりやすくする。
12	音の重なりを感じよう	3	○合奏 讃美歌 ◆ハーモニーの美しさや移り変わりを感じ取ることができる。 ◆友達とテンポを合わせて演奏することができる。		<ul style="list-style-type: none"> • 見やすくわかりやすい楽譜を提示する。
1	日本の調べに親しもう	3	○鑑賞 箏曲「六段の調べ」 ○箏演奏「さくらさくら」 ◆箏の音色や表現を味わいながら鑑賞する。 ◆箏のしくみを知り、簡単な曲を演奏できる。		<ul style="list-style-type: none"> • 楽器の仕組みを理解しやすくするため、実際に箏を使用する。
2	音楽の背景を理解して鑑賞しよう	4	○西洋音楽史 ◆有名な作曲家の曲や有名楽曲をたどり、クラシック音楽への理解を深めることができる。 ○「フルタバ」 ◆情景を想像し、鑑賞することができる。 ◆作曲者の思いを感じ取りながら曲を鑑賞することができる。		<ul style="list-style-type: none"> • 日本の歴史と比べられる年表を使用する。 • 情景をイメージしやすくするため画像を用いる。 • 歴史的な背景について説明をする。
3	卒業に向けて	2	○歌唱「旅立ちの日に」「いのちのうた」 ◆ブレスや強弱、フレーズを意識して歌唱することができる。 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。		<ul style="list-style-type: none"> • ストレッチをしっかりと行う • 強弱記号に印をつけ、分かりやすくする。
通年					<ul style="list-style-type: none"> • 見通しがもてるよう授業全体の流れを呈示する。

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	美術	準ずる教育課程	学習グループ名	中⑤
教科等名	美術		学習グループ名		中⑤			
目標・ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 綺麗なもの美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。							
年間授業時数	55 単位時間							
使用教科書	日本文教出版「美術1 出会いと広がり」							
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容				指導上の工夫	
4	【絵画・彫刻】 色彩の仕組み 自由な視点で風景を見つめる	20	○鑑賞作品について、視点の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさ、イメージの変化などを感じ取る。 ○見慣れた風景を視点の位置を変えて見つめ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、単純化や強調、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。 ○主題を基に絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求しながら絵に表す。 ◆普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵や写真で表す。				・生徒の個別の実態を把握し、今後の授業に生かせるように丁寧に指導する。	
5								
6	【デザイン・工芸】 日本の技と心を受け継いで	20	○自然や季節感を取り入れた、日本の伝統美術や工芸品の形や色彩、材料、技法に着目し特性について理解する。 ○自然のよさや季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面を基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考えてアイデアスケッチをする。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。 ◆生活に息づく工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、自然や季節感、地域素材を取り入れた日本の伝統や使う場面などを基に主題を生み出し、形や色彩、材料、技法、作風などの効果を考えて、見通しを持ってデザインし表す。				・作る作品についてipadを用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じることを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるように配慮する。	
7								
9	【絵画・彫刻】 刷って楽しむ版画の世界 「ステンシル」	20	○版による表現を用いた作品を鑑賞し、版で表す効果や技法による表現の違いなどを感じ取る。 ○対象から感じ取ったことや想像したことなどを基に、版の特徴を考えながら主題を生み出す。 ○主題を基に、版による表現の効果を工夫して構想を練る。 ○彫りや刷りを生かして、意図に応じて工夫して表す。 ◆表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考えて、材料や用具を工夫して版で表す。				・作る作品についてipadを用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じることを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるように配慮する。	
10								
11	【デザイン・工芸】 ひと目で伝わる みんなのデザイン	20	○身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。面を構成することができる。 ◆ピクトグラムのデザインに関心を持ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場面などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考えて、見通しを持ってデザインし表す。				・作る作品についてipadを用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じることを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるように配慮する。	
12								
1	【絵画・彫刻】 筆と水で多彩に表す	5	○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。 ◆墨などで表すことに興味を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。				・作る作品についてipadを用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じることを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるように配慮する。	
2								
3								
通年	鑑賞		自他の作品を鑑賞して、良い点を発表する。					

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	保健体育	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	保健体育			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。						
年間授業時数	38 単位時間						
使用教科書	新編新しい保健体育						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫	
4	体育祭に向けて 陸上競技・球技	10	○集合、整列、集団行動			・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。	
5			○課題走球技など				
6	水泳	7	○水慣れ、浮き身、泳法指導			・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグルーピングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。	
7	保健「健康と環境」		○傷害の発生要因 ○交通事故の発生要因 ○交通事故の危険予測と回避 ○犯罪被害の防止 ○自然災害による危険 ○応急手当と心肺蘇生方				
9							
10	集団行動・マスゲーム ダンス	12	○集団行動・ダンス			・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集めたり整列したりする。 ・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。	
11	保健「健康な生活と疾病の予防」		○生活習慣病の起こり方 ○がんの予防 ○喫煙、飲酒、薬物乱用の害と健康 ○薬物乱用の社会的な影響				
12							
1	生涯スポーツ・武道	9	○生涯スポーツ			・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。	
2	保健「文化としてのスポーツ」		○剣道：基本動作・面・小手				
3			○運動やスポーツの効果 ○運動やスポーツの安全な行い方				

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	技術・家庭	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	技術・家庭			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) 社会や生活、自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 社会生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、表現するなどして、課題を解決する能力を身に付ける。 (3) 社会生活を大切にする心情を育みながら課題解決に主体的に取り組み、社会の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。						
年間授業時数	70 単位時間						
使用教科書	東京書籍「新編 新しい技術家庭 技術分野」 開隆堂「技術・家庭 家庭分野」						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫		
4	○生活や社会を支える技術	2	○技術の役割 ○問題の発見と課題の設定		・身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べさせ、技術分野の学習への関心を高める。 ・安全に気を付けて実習を行う。 ・具体物を教材に活用して理解を促す。 ・様々な情報コンテンツを活用して興味関心を高める。		
5	○生活や社会を支える材料と加工の技術 ○材料と加工の技術による問題解決	21	○身の回りの材料と加工の技術の技術 ○材料の特性と加工方法 ○丈夫な製品を作る工夫 ○材料の性質の実験				
6	○社会の発展と材料と加工の技術		○部品加工の手順と工具(けがき、切断、穴あけ、塗装) ○製図				
7	○計測・制御のプログラミングによる問題解決	14	○計測・制御システムとは ○問題の発見と課題の設定		・ICT具体物や視覚支援を利用する。 ・実際の操作や実例紹介や実習などを通して、理解や思考の支援を行う。		
9							
10	○食生活を豊かにするために ・栄養素の種類と働き ・食品に含まれる栄養素 ・日常食の調理	22	○五大栄養素 ○6つの基礎食品群と、食品群別摂取量のめやす ○調理の基礎技術(計量器具の使い方、調理道具の使い方) ○日常食の調理(洗う、切る、調理、片付け)		・絵カードやパワーポイントなどで視覚的に分かりやすくする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。 ・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようにする		
11							
12							
1	○家族・家庭生活	12	○家族・家庭や地域との関わり ○幼児の生活と家族 ○家族・家庭生活についての課題と実践		・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようにする。 ・課題解決学習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようにする。		
2							
3							
通年							

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	外国語		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) Listening、Speaking、Reading、Writingの初歩的な知識・技能の習得を図る。 (2) 外国語やALTとの学習を通じて、外国の言語や表現、文化に対する理解を深める。 (3) 主体的にコミュニケーションを取ろうとする態度を育成する。				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	東京書籍「NEW HORIZON 1」				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	Unit 0 Nice to meet you	12	小学校で学習した表現を復習して、クラスメートと挨拶をしたり、好きなものを尋ね合ったりする。		<ul style="list-style-type: none"> ・英語で簡単な挨拶をしたり、やさしい指示を聞いて行動したりすることに慣れるよう、毎時の授業で定型表現を用いる。 ・視聴覚教材を活用して、音声と文字が結び付くようにする。 ・授業の始めに英語の歌を扱い、ネイティブの発音やイントネーションにふれる。 ・学習内容の理解の定着を図るため、プリントやワークを用いる。 ・ALTによる授業では、発音に慣れるとともに、自信をもって発言できるような雰囲気作りをする。
5	Unit 1 Hello, Everyone	12	1人称・2人称のbe動詞・一般動詞の文を理解して、自分のことを伝えたり、相手のことを尋ねたりする。		
6	Unit 2 Our New Teacher	12	3人称のbe動詞の文、助動詞canの文を理解して、身近な人やものについて紹介したり、尋ねたりする。		
7	Unit3 Our School	12	疑問詞What、Who、How、When、Whereの文を理解して、知らないものや人についてや、いつ、どこなのかを尋ねる。		
9	Unit4 Friends in New Zealand	12	How many…?、What time…?、命令文を理解して、数や時刻、好きなものについて尋ねたり、指示や助言をしたりする。		
10	Unit5 My brother in Hawaii	12	三人称単数現在形の文を理解して、自分と相手以外の人やものについて、尋ねたり伝えたりする。		
11	Unit6 A Rakugo performer from the U.K.	12	人称代名詞、疑問詞Whose、Whichの文を理解して、自分と相手以外の人について話したり、だれのものかを尋ねたりする。		
12	Unit7 An Online Tour of the U.K.	12	現在進行形の文を理解して、今していることについて説明したり、尋ねたりする。		
1	Unit8 Think Globally, Act Locally	12	want (need) to…、look+形容詞の文を理解して、したいことや、する必要のあることについて説明したり、尋ねたりする。		
2	Unit9 Winter Vacation	12	一般動詞の過去形の文を理解して、過去の出来事について説明したり、尋ねたりする。		
3	Unit10 The Year's Memories	12	be動詞の過去形、過去進行形、There isの文を理解して、過去の状態、過去のある時点でしていたことについて説明する。		
通年	英語でのやり取りを中心とした学習(ALT)	8	ALTと英語でやり取りをして、他国の文化に触れる。		

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部		学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	道徳			学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1)生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。 (2)責任をもってやり抜こうとする実践意欲を養う。 (3)自他の生命を大切にする心情を養う。					
年間授業時数	36 単位時間					
使用教科書	あすを生きる2					
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫	
4	おじさん役と私 おばちゃんのくれた「おまじない」、 挨拶は言葉のスキンシップ	3	向上心、個性の伸長 勤労 礼儀		一人ひとりに必ず自分らしいよさがあり、自分を受け入れたうえで広い視野と向上心をもって磨くことで個性は輝いていくことの自覚を通して、自分らしい生き方を追求しようとする態度を育む。	
5	五月の風ーカー 五月の風ーミカー リスペクト、アザース 名乗り出なかった友	8	希望と勇氣、 克己と強い意志 自主、自律、自由と責任 友情、信頼 公正、公平、社会正義 思いやり、感謝 真理の探究、創造		物事を始めたときの思いが自分の信念となり、それが目標に向かって困難を乗り越えていく原動力になることの自覚を通して、より高い目標に向けて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。	
6	戦争を取材する 時を越えて					
7	父の決意 和樹の夏祭り	2	生命の尊さ 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		命は自分だけのものではなく、家族などの強いきずなで結ばれた関係性に支えられて私たちは生きていることを自覚し、たった一つの命を大切に人生を生き抜こうとする態度を育てる。	
9	他人の靴を履いてみる ネット将棋 樹齢七千年の杉 あすを生きる1	3	相互理解、寛容 公正、公平、社会正義 自主、自律、自由と責任 感動、畏敬の念		ほかの人の立場に立つことで、多様な視点から物事を見ることができ、自分の世界が広がることの自覚を通して、意見や立場の異なる人に対しても自分から理解しようとする態度を育てる。	
10	上勝から世界を変える 美しい鳥取砂丘	4	よりよく生きる喜び 勤労 自然愛護 遵法精神、公德心		自分の弱さや未熟さを認めようとして、自分のやってきたことや可能性を信じることが人間としての強さにつながっていくことの自覚を通して、人間として気高く生きようとする態度を育てる。	
11	行動する建築家 坂 茂 夜のくだもの屋 アフガニスタンの人々と共に	4	思いやり、感謝 国際理解、国際貢献 よりよい学校生活、 集団生活の充実		人間はさりげない善意や深い思いやりによって支えられ守られていること、そしてそれらに対して感謝することの難しさを自覚し、思いやりと感謝の心をもって人と接しようとする態度を育てる。	
12	命を見つめて 一猿渡瞳さんの六百四十六日 行く年、来る年	2	生命の尊さ 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度		伝統文化の形は時代によって変化するが、生活の中の願いや思いは受け継がれており、自分も受け継ぐ一人であることを自覚し、日本の伝統と文化を継承しようとする実践意欲を育てる。	
1	コトコの涙 マークはなんのために? 最後のパートナー	3	相互理解、寛容 社会参画、公共の精神 生命の尊さ		困難を抱える人が生活しやすい社会は、誰もが生活しやすい社会でもあり、自分もそんな社会をつくる一員であることを自覚し、主体的によりよい社会をつくるようとする実践意欲を育てる。	
2	避難所にて よみがえれ、えりもの森 足袋の季節 恋する涙	4	節度、節制 自然愛護 よりよく生きる喜び 友情、信頼		人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を得ており、過去と現在の自然との関わり方が未来へとつながっていくことの自覚を通して、自然に感謝しながら守り大切にしようとする態度を育てる。	
3	包む きいちゃん	3	我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度 家族愛、家庭生活の充実		家族は一人ひとりが深いきずなで結ばれたかけがえない存在であり、家族の存在がお互いの生きる支えになることの自覚を通して、信頼と愛情のある家庭生活を築いていこうとする心情を育てる。	
通年						

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	
教科等名	特別活動		学習グループ名		
目標・ねらい	(1) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合いながら学校生活を送る。 (3) 学習や活動を通して色々な人とつながる楽しさを知る。				
年間授業時数	143 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	新入生歓迎会	2	○自己紹介、レクリエーション。 ◆新入生歓迎会を通して学部仲間や雰囲気を知る。		・自分なりの方法で自己紹介できるよう練習する。
5	体育祭	4	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、参加する。		・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションをとる場面を設定する。
6	レクリエーション	3	○モルック、ゲームなど ◆レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活動する。		・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
7	1学期を振り返って	1	○発声、スイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。
9	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	墨東祭について	12	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作を、見通しをもち主体的に参加する。		・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。
2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆頑張ったことについてお互いに発表し合う。		・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。	
1	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	3年生を送る会に向けて	5	○3年生を送る会の準備をする。 ◆3年生を意識して送る準備を主体的に行う。		・自分達なりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションをとる場面を設定する。
3	卒業式に向けて	2	○卒業式の練習に参加する。 ◆式へ参加する心構えと見通しをもつ。		・見通しがもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。
	1年生を振り返って進級に向けて	2	○1年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ◆1年を振り返り、進級に向けて目標を確認する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を知り、改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力を付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね 佐伯かおり 齋藤篤彦				
年間授業時数	73 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
通年	身体の取り組み コミュニケーション	73	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ ・姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ・姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ・歩行練習 ・手指の操作性を高める取り組み ・全身の連動性を高める取り組み ・視機能を高める取り組み ・コミュニケーションゲーム 		<ul style="list-style-type: none"> ・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。